

2022年7月19日

授業評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。
自由記述のコメントについて、お答えします。

【刑事学総論・展開講義（いじめと法） 共通】

1 キーワード入力について <維持・改善します>

(1) 昨年度、受講生から、録音データを全て聴かずにミニレポートを提出する受講生がいるのではないかとのご懸念を伝えられました。

今年度は、ミニレポートの提出の条件として、授業内で伝えるキーワードを入力してもらうことにしました。

正直に申し上げますと、私は、大学時代、出席を取る授業以外の授業にはほとんど出ないという不真面目な学生でした（出席していた授業は今でも数え上げられるほど少なくて恥ずかしい限りです。刑事学は出席し続けた数少ない科目でした）。当時は通年4単位を一括して単位認定するのが通例でしたので、毎年12月になると授業に出なかったことを後悔しながら1年分の勉強を始め、2月に毎日続く専門の試験まで必死で勉強するということを繰り返していました（胸を張って言えることではありませんが、そういう後悔もあって、授業に真面目に取り組んでいる学生さんを大切にしたいという気持ちは人一倍あるのかもしれませんが）。

そのため、キーワード入力は相当不評なのではないかと心配していました。

ところが、アンケートでは、きちんと授業を聴いていることを評価するシステムであり、キーワードの聴き洩らしがないように集中できるなどの肯定的な意見が圧倒的な多数を占め、不真面目だった自分を基準に考えてはいけなさとひどく反省するとともに、真面目な学生さんに恵まれていると改めて実感しました。

(2) キーワード入力については、キーワードの個数を明示してほしいという意見がありました。今後は、キーワードの個数を入力画面でお伝えするにしたいと思います。

(3) キーワードを他の受講生から尋ねられるという話もうかがいました。私も、当初から心配していた点ではありますが、真面目に取り組んでいる受講生に無用の負担にならない実効的対策が思い浮かびません。よい対策があれば、LMSのメッセージでぜひご教示ください。

2 LMSのトップ画面への提出物の締切間近の表示について <改善します>

今年度から、LMSのログイン後のトップ画面に提出物が締切間近であることが表示されるようになったようです（教員側は設定できず、システムが自動的に表示しているようです）。

ところが、ミニレポートの締切が近いことが表示されなかったようで、大変ご迷惑をおかけしました。

システム上、ユニット（複数の教材を連続して提示する方式）を組んでいる場合、

提出物が締切間近であると表示されないようです。

キーワード入力をしてもらってからミニレポートとして質問を入力してもらおうと思うと、システム上、ユニットを組まざるを得ません。

システム管理者に改修依頼をしても、返信までに何か月もかかったり、返信がもらえなかったりする状況ですので、いつ改修されるか不透明な状況にあります。

そこで、差し当たりの対応として、7月13日締切のミニレポートが残っていた展開講義（いじめと法）については、ミニレポートの締切と同じ日時を締切とするダミーの教材を作成し、ログイン後のトップ画面に提出物が締切間近であることが表示されるように試みました。

もっとも、この方法では、ミニレポートを提出しても上記表示が消えないという問題がありました。実際、複数の受講生から、スケジュール管理や進捗管理のためにミニレポート提出後に上記表示を消したいとのご要望を頂戴しましたので、ダミーの教材で選択肢を選択することで上記表示を消すことができるように改めました。今後も上記の対応を継続したいと考えています。

3 録音データとレジュメの提供方法について <維持します>

(1) 今学期は、昨年度の授業評価アンケートを踏まえて、録音データもレジュメもDropboxで提供しました。

倍速再生もしやすいなどの理由で受講生からも好評でしたので、今後もDropboxで提供したいと考えています。

(2) 今年度は、10～30分程度の区切りのよいところでファイルを分割するように心掛けました。

受講生から聴きやすいと好評でしたので、今後も同じようにしたいと考えています。

4 授業の録音データとレポート・ミニレポート課題の提供時期について <維持・検討します>

(1) 今学期は、授業の録音データ・レジュメとミニレポート課題を学期初めに全て提供しました。

受講生からは、自身のスケジュールにあわせて、授業を聴いたり、レポート・ミニレポートに取り組んだりできるとして、今学期も大変好評でした。

今後も今学期と同じようにできる限り早めに録音データ・レジュメとミニレポート課題を提供したいと考えています。

(2) 一方、学期中のレポートの課題については、締切の1か月ほど前に公表しました。学期中のレポートの課題についても、学期初めに全て公表してほしいという声が少なくありませんでした。

課題の内容にもよるのですが、次年度は早めに公表できないか検討します。

5 ミニレポートとフィードバックの内容について <維持します>

ミニレポートとして授業内容に対する質問を書いてもらうことは、質問を考えな

から録音データを聴くことにつながるなどとして、今学期も好評でした。

また、質問に対してフィードバックで回答するという方式も、授業で触れられなかった内容を知ることができるなどとして、大変好評でした。他の受講生のレベルの高さを感じてやる気が出たといううれしい声もいただきました。フィードバックの際に自身の質問が取り上げられて、学習へのモチベーションが上がったとの声もいただきました。

一方で、フィードバックの時間を一定程度に抑える観点から、全ての受講生の質問を取り上げることができず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

少なからぬ受講生に推測していただいたように、教員としては負担が比較的大きかったことは事実です。しかし、私としては、受講生がどのような点に疑問を持つのか知ることができ、大変有益でした。

今後も同様の方式を継続する予定です。

【刑事学総論】

6 複数の週にまたがるテーマの場合の録音データとレジユメの提供方法について
<改善します>

今年度は、複数の週にまたがるテーマの場合（例えば、第 4～6 回の自由刑）、全てのファイルとレジユメをまとめて提供しました。

この点については、分かりやすいという肯定的な評価がある一方で、3 週に分けて聴きたい場合にどこで区切れればよいか分からないという声もいただきました。

今後は、1 週間分がどのファイルまでかという目安を示すこととしたいと思います。

【展開講義（いじめと法）】

7 レジユメのページ数について <説明します>

レジユメのページ数が 200 ページを超えており、多いとのご意見をいただきました。

実は、この点は、科目開設に当たって授業準備を 2020 年秋に始めた際に最も悩んだ点です。

レジユメをご覧いただくと、ケースのほかに紙幅をとっているのは、法律や各指針を摘示した部分です。教員としては、条文を見ていただくとは絶対に必要であると考えています。また、この科目で取り上げる法律や各指針は、教育系の特殊な六法以外には掲載されていないものも多く、しかも、「いじめの防止等のための基本的な方針」と「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」は相当のページ数があり、授業の中でその都度それらの指針の該当箇所を探して読んでもらうのは大変な手間だと感じました。実際に、条文を掲載しないレジユメを作成して授業のリハーサルをしましたが、授業の受け手の立場で想像したときに、好ましいレジユメのスタイルとは言い難いと判断せざるを得ませんでした。

そのため、悩んだ末に、科目の特殊性ということでページ数が多いのはやむを得ないと判断し、条文については関係するものをその都度掲載することにしました。

本年度は、シラバスにおおよそのページ数を記載するとともに、第 1 回目の授業

でレジュメが多くなっている理由について詳しく説明したこともあり、仕方がない
とのご感想もいただきました。

適切な概説書がない中で、授業としての質を維持するためにやむを得ないところ
ですので、ご理解賜りたく存じます。

皆さんの御意見を参考に授業をよりよいものにしていきたいと思えます。